

外来語の意味に関する一考察 - 連想法を用いて -

皆川直凡

(樟蔭東女子短期大学)

外来語の意味、連想法

序論

日本語の三つの表記法のうち、カタカナは外来語を日本語の中に取り入れるという機能を持つ。カタカナによって日本語の中に取り入れられた外来語の中には、原語とほぼ同じ意味に用いられるものもあれば、原語とはかなり異なる意味に用いられるものもある。後者の一例として、「マンション」という語がある。この語は、えいごの mansion を起源としており、その第一義は「大邸宅」であるが、日本語では専ら中高層の集合住宅という意味に用いられている。この他にも、外来語がカタカナに置き換えられることによって日本語化されたことにより、本来の意味よりも広い意味に用いられ、狭い意味に用いられるようになった例が多数認められる。

本研究は、意味の測定法の一つである連想法を用いて、外来語の本来の意味と日本人が認識している外来語の意味の差についての考察を加えようとする試みである。

方法

被験者 大学生 100 名 (男女各 50 名) が連想法による実験の被験者となった。彼らの平均年齢は 19.6 歳、年齢範囲は 18~21 歳であった。

刺激材料 本実験の被験者とは異なる 50 名 (男女各 25 名、へいきん年齢 19.4 歳) の大学生にカタカナ表記の外来語 100 語の熟知度について 5 段階の評定を行わせ、40 名以上が熟知度 4 (知っている) または 5 (よく知っている) と答えた語のうちから 30 語 (表 1 参照) を選び、本実験の刺激材料とした。

手続き 本実験は、授業時間の一部を利用し、集団で実施した。刺激材料が 10 語ずつ縦一列に印刷された 3 枚の A4 版の用紙を被験者に配布した。被験者には、各語を見て思い浮かぶ語をすべて書くことを求めた。制限時間は各語につき 1 分であった。解答用紙には、各語の右に連想語を書く空欄を二行ずつ設けてあり、被験者には、前半の 30 秒間に思い浮かんだ語は上の行に、後半の 30 秒間に思い浮かんだ語は下の行に書くことを求めた。実験車は 30 秒ごとに、「次の語へ」あるいは「次の行へ」という合図を送った。

結果及び考察

第 1 連想語、前半 30 秒間の連想語、後半 30 秒間の連想語という 3 つの観点から、各刺激語に対する連想語の種類とその頻度を集計した。第 1 連想語を含めた前半には、多くの人々に共通する連想が行われ、後半には、個々の被験者独自の連想が行われると予測された。

第 1 連想語についての集計結果を示したのが表 1

である。この表では、表現は異なるが類似した意味を持つと考えられる連想語は集約して示してある。たとえば、イメージに対する「想像」と「空想」、コンプレックスに対する「欠点」と「弱点」、タイプに対する「理想」と「好み」、ターゲットに対する「標的」と「まと」、バランスに対する「釣り合い」と「平衡」などの連想語は、ほぼ同じ意味を内包していると考え、前者で代表させた。ここには、各外来語に対して多くの人々が共有する意味が表れている。他方、後半の連想語には、個々の被験者が各々の経験と結びつけて感じている意味が表れていた。【みながわ なおひろ】

*本研究は、1996 年 12 月に関西心理学会第 108 回大会において口頭発表した。

表 1 外来語 30 語に対する高頻度第 1 連想語

刺激語	高頻度第 1 連想語の例
アクション	行動、活動、映画
イベント	催し、行事、企画
イメージ	想像、印象、心の中の考え
エゴ	身勝手、自我、エゴイスト
カウンセラー	相談、治療、心理学
ガイドブック	参考書、マニュアル、旅行
キーワード	重要事項、鍵、クイズ
キャラクター	個性、人物、アニメ
グループ	仲間、集団、団体
ケース	箱、入れ物、場合
コンプレックス	悩み、欠点、劣等感
サークル	活動、集団、大学生
ストレス	イライラ、精神的、現代社会
スピーチ	話す、演説、結婚式
ターゲット	標的、ねらい、しぼる
タイプ	型、種類、理想
ダイナミック	大胆、大きい、豪快
テスト	試験、勉強、学校
デザイン	服装、色、形
ノイローゼ	病気、悩み、精神異常
ハート	心、気持ち、愛
バランス	釣り合い、平均台、栄養
パーソナリティ	個性、人格、ラジオ
パニック	混乱、天災、ごちゃごちゃ
パフォーマンス	出し物、大道芸人、表現
パワー	力、元気、強い
ファッション	服装、おしゃれ、センス
プライバシー	秘密、保護、侵害
プラン	計画、予定、旅行
ボリューム	音、多い、大きい